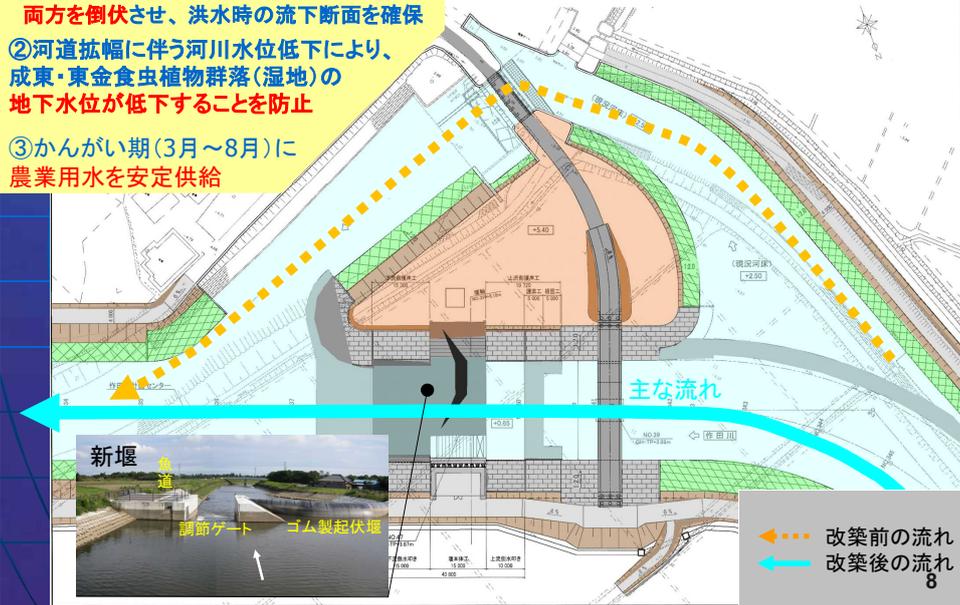


作田川の整備状況(武射田堰の役割)

- ①ゴム引布製起伏堰、水位調節用起伏堰の両方を倒伏させ、洪水時の流下断面を確保
- ②河道拡幅に伴う河川水位低下により、成東・東金食虫植物群落(湿地)の地下水水位が低下することを防止
- ③かんがい期(3月~8月)に農業用水を安定供給

堰一般図(1) S=1:300



- - - 改築前の流れ
— 改築後の流れ

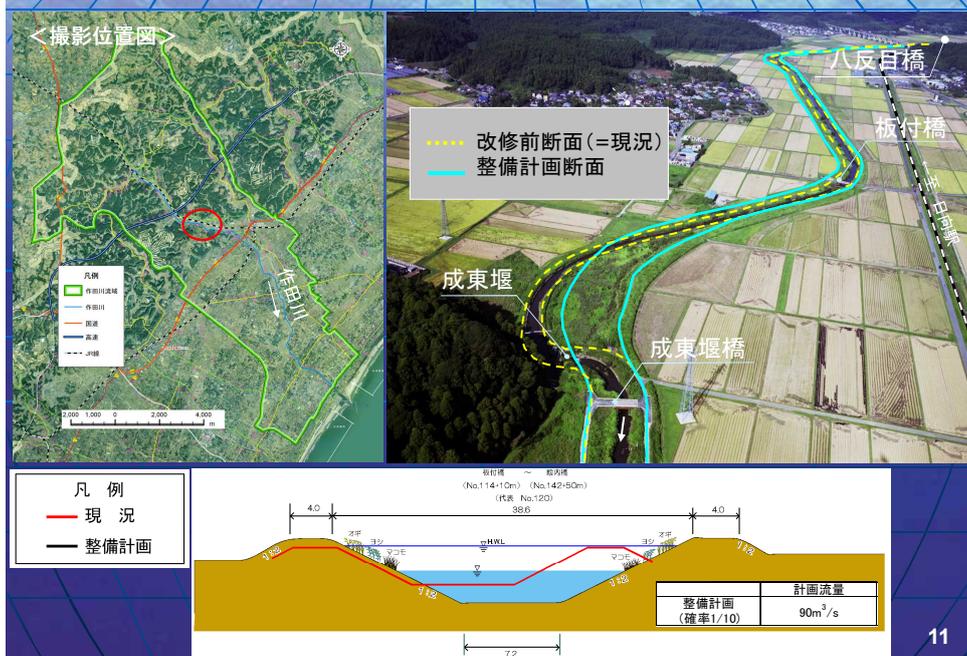
2. 作田川の整備状況(薬師橋~昭和橋)



2. 作田川の整備状況(昭和橋～加持橋)



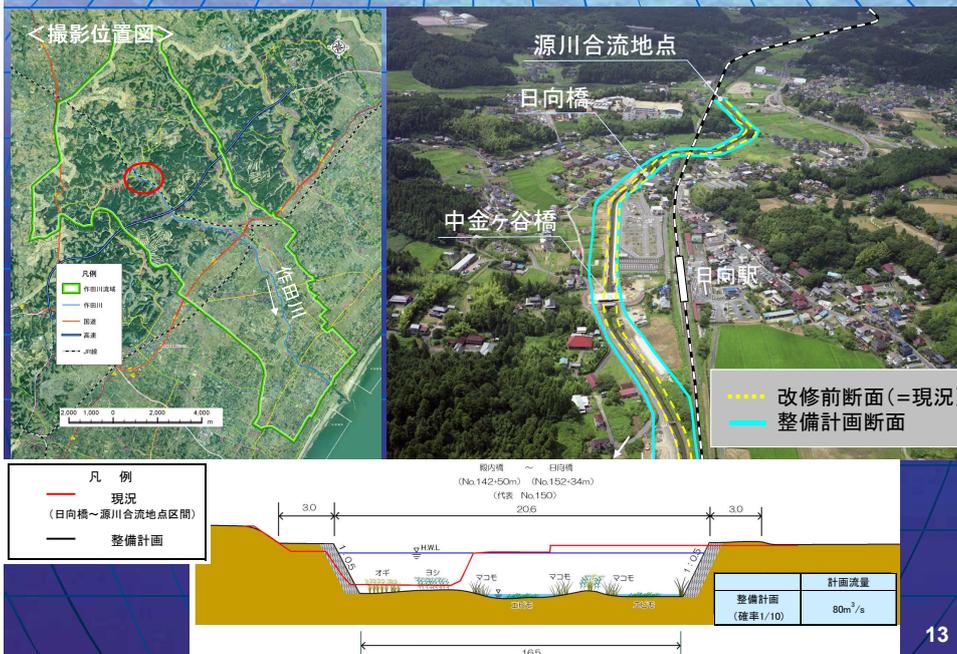
2. 作田川の整備状況(加持橋～八反目橋)



2. 作田川の整備状況(八反目橋～中金ヶ谷橋)

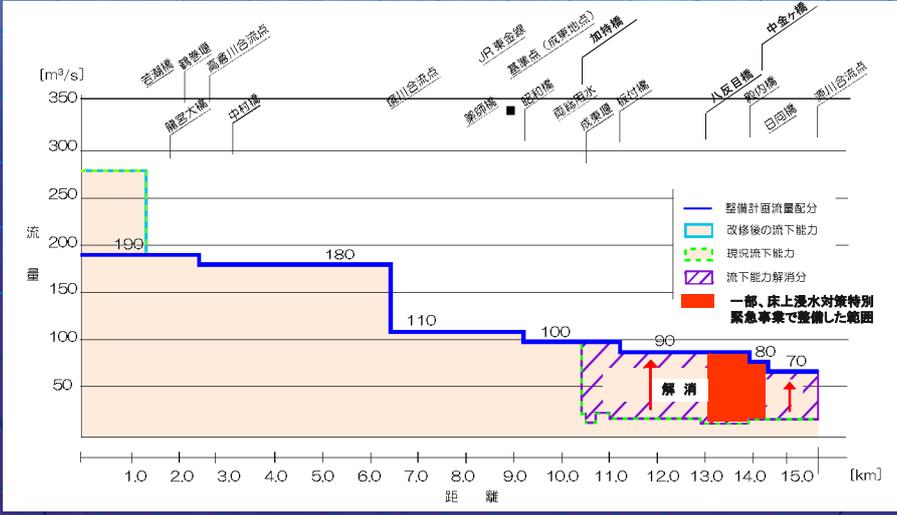


2. 作田川の整備状況(中金ヶ谷橋～源川合流地点)



改修と流下能力(改修効果)

今後



3. 作田川の現状 「外水氾濫」のメカニズム

①流域の雨水が作田川に流入 ⇒ 作田川の水位上昇



水位が氾濫開始水位に達して溢水！⇒**浸水**する「外水被害」が発生

